学校番号	T0203

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	教養数学 （通信）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し，知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回，しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずにしっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学的な計算や処理の知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
数学的な思考力や事象を正確にとらえ，判断し表現する力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを主体的に活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，用語・記号などを理解して，事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする知識・技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察，判断し，表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	図形の性質	直線と角	a:対頂角，同位角，錯角について正しい知識を身につけている。 b:対頂角，同位角，錯角の違いを判断できる。 c:主体的に角度をもとめようとする。	レポート、定期考査	レポート、定期考査	課題
		多角形の角	a:内角や外角について正しい知識を身につけている。 b:内角の和や外角の和が，なぜその角度になるのかを思考している。 c:主体的に角度をもとめようとする。			
		三角形の合同と相似	a:三角形の合同条件と相似条件についてそれぞれ理解している。 b:問題を見て自分で判断し，どの条件を使うかを考えている。 c:難しいと諦めず，問題に向きあおうとしている。			
		三角形と比	a:三角形の比の性質，中点連結定理についてそれぞれ理解している。 b:相似条件から導き出されているかを考えている。 c:主体的に辺の長さをもとめようとしている。			
		三角形の重心	a:三角形の重心について，正しい知識を身につけている b:なぜ重心が中線を２：１に内分するかを考察している。 c:身近な例で重心が活躍している場面があるかを積極的に調べようとしている。			
		三角形の外心と内心	a:三角形の外心，内心についてそれぞれ理解している。 b:外心と内心の性質を理解し，どの問題のときに使うかを判断できる。 c:自ら図をかき，問題を解こうとしている。			
		角の二等分線と線分の比	a:角の二等分線と比について，どの辺の比とペアになるかをわかっている。 b:どのように証明すればよいか思考している。 c: 証明を理解しようとする。			

後 期		円の接線	a:接点や接線について正しい知識を身につけている。 b:三平方の定理から成り立っていることを思考している。 c:接線を使って辺の長さをだそうとしている。	レポート、定期考査	レポート、定期考査	課題
		円周角の定理	a:弧，弦，中心角，円周角について正しい知識を身につけている。 b:どうすればもとめたい角度がでてくるか論理を立てている。 c:角度をもとめようと試行錯誤している。			
		円に内接する四角形	a:円に内接する四角形の性質を理解している。 b:なぜ性質が成り立つかを表現できる。 c: 積極的に角度をもとめようとしている。			
		接線と弦のつくる角	a:接線と弦のつくる角がどこと等しくなるのかを理解している。 b:どのように証明すればよいかを思考している。 c:証明を理解しようとしている。			
		方べきの定理	a:方べきの定理の公式がどのときに使えるかを理解している。 b:証明が相似からきていることを考察している。 c:定理を使って線分の長さをもとめようとしている。			
		2つの円	a:２つの円の位置関係について何パターンあるかわかっている。 b:中心間距離と半径との関係を考察している。 c:主体的に図をかこうとしている。			
		直線や平面の位置関係	a:２つの直線の位置関係，平面の決定，２つの平面の位置関係，２つの平面のなす角，直線と平面の位置関係について正しい知識を身につけている。 b:空間図形特有の見方や考え方をしようとしている。 c:空間図形について興味を持ち，自ら学ぼうとしている。			

		多面体	a:正多面体の種類やオイラーの多面体定理について正しい知識を身につけている。 b:表の空欄をうめたときに何がいえるかを考えている。 c:多面体について興味を持ち，自ら学ぼうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度